

# まち地域のかえ広場 No.5

町への思い、地域への思い、議会への思いを届けます。

## 人権意識を、町民全員と高めていきたい！

1993年地元先輩方の運動によって建てられた童夢館も、30年が経過しました。子どもが減少して行く中、昨年度も2864人の来館者があり、子どもの声が鳴り響く、にぎやかな施設になりつつあると思っています。

ここに勤務して15年目になり、子ども会中心に仲間づくりから始まり、人権学習に取り組んでいます。以前は万行の子ども達为中心で、童夢館は子ども会のための施設だと思われていましたが、今では町全域から集える施設になり、保護者の方からも信頼される施設になって来ています。

これからは保護者と一緒に集える場所づくりや、防災学習、人権学習など今まで以上に取組んで行きたいと思っています。

それから、3月議会で言うてはならない言葉を聞いた時、驚きを隠しきれませんでした。議員の皆さんも人権や部落差別について、もっと学習してほしいと思いました。

万行に生

まれ、子ども会で育ってきた私は、仲間の大切さをこれからも伝えていきます。



吉本 真穂さん 52歳  
入野在住 (令和6年6月)

## 40～60代が活躍できる場を作っていけたら！

東京から高知へ移住して来て32年になります。東京の美大で絵の勉強をしていて、和紙には関心がありました。

28歳の時、感音性難聴になり、紙すきになろうと思い、寒い所が苦手なので、32歳で暖かい高知へ来ました。

最初、土佐市で地域の高齢者に1日中、付きっきりで分からないことを習いました。無給だったので8カ月ほどでお金が底をつきかけた頃、塩づくりをやっている人と知り合い、そこでのバイトを紹介されて黒潮町へ来てから、若山楳のことを知りました。

「佐賀北部活性化協議会」は、地域を良くするための集まりだけど、高齢者ばかりになり、地域向けに何かやらないといけないと思っています。5年ほど前からやっと世代交代し、雰囲気が変わってきました。

最近の若い人は、懸命に頑張っているのだけれど、祭りとかに出てこなくて表に見えてきません。そのため、40～60代がもっと活躍できるような場を作っていけたら良いなと思っています。



和紙工房で楮(こうぞ)の「へぐり」を教える  
中嶋久実子さん(右) 63歳  
佐賀橋川在住 (令和6年6月)

### 編集後記

前号の「くろしお議会だよりNo.72」の一般質問の記事において、不適切な用語の掲載があり、町民の皆様大変不快な思いをさせました。

このため、急遽、議長と広報常任委員長の連名にて、お詫びと記事の一部削除のお知らせをさせて頂くと共に、今回の議会だよりも関連のお詫びと一部削除後の記事を載せています。

これらの原因は、議会及び広報委員会の認識不足であり、今後は、これらへの認識を深め、不適切な発言等には留意してより良い広報誌づくりに努めていきます。

(宮川 徳光)

### 議会広報常任委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 宮川 徳光 |
| 副委員長 | 小松 孝年 |
| 委員   | 奥本 哲也 |
| 同    | 濱村 美香 |
| 同    | 水野 佐知 |
| 同    | 山本 牧夫 |

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人 高知県黒潮町議会  
■編集 黒潮町議会広報常任委員会  
■住所 高知県幡多郡黒潮町入野 5893 TEL.(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)

■発行日 令和6年8月1日